



こうべ森の学校だより

No.91

2020年1・2月号

発行人：こうべ森の学校 編集委員会
 発行所：神戸市北区山田町下谷上中一里山 4-1
 神戸市森林整備事務所内
 Tel：078-371-5937 Fax：078-371-1087

新年のご挨拶

こうべ森の学校
代表 藤原恒夫



明けましておめでとうございます。
令和で最初の年明けです。

森学では初出の日には、「山の神」の神事を行います。例年はログハウスの前でやっていますが、本年の7日はあいにくの雨。ログハウス内での神事です。恵方に向かって簡易神棚を設けて、後方には紙垂も。もちろん神主さんにうやうやしく祝詞を挙げてもらいます。今年も森学専属の森谷宮司にお願いしました。勿論のこと、森学ですからボランティアでやってもらっています。二礼二拍手一礼・・・一通り神事が終われば、参列者それぞれ車で来ている人は、お神酒を少しだけ口に付けて、歩きの方はゴクリと飲んで外へ出ます。ログハウスや作業所、道具倉庫の四隅にお神酒を注ぎます。周辺の木々の根本にも注ぎます。

如何でしょうか？こうして森学は山での安全祈願を毎年新年の初日にやっているのですよ。

さて、昨年も各地で台風、土砂災害が起きました。幸い我が活動地周辺では、大きな被害はありませんでしたが、ニュース等を見ていると、地球規模での温

暖化の影響を感じざるを得ない状況になっています。

森林は温暖化の抑制効果があると思われませんが、森林破壊は止まることなく進んでいます。ボルネオ島ではパーム油を得るために熱帯林が、アマゾンでは肉牛の飼料トウモロコシの大規模農場の開拓で生物多様性宝庫の森が、ロシアでは用材輸出のためにツンドラ地帯の森林が、猛スピードでなくなっています。更に、昨年からのオーストラリアの収まらない巨大森林火災が地球温暖化ガスCO2をまき散らしています。

日本の森はどうでしょう。世界で数少ない森林増加国になっています。しかしながら、皆さんご存知の通りその森はほとんど手入れされていないのが現状です。毎年の土砂災害を見るたびに胸が痛みます。我々森学は微力ながら山の手入れをし、その情報を発信共有しながら活動していきたいものです。

ところで最近、森林浴という言葉あまり耳にしなくなりましてね。別にその効果は無くなっていないので、もっと森に入りましょう。心身ともに健全になりましょう。森の中に入ってイライラしている人はいませんか。



1月11日 例会の集合写真

■前々回・前回の報告

日付	参加者	司会	午後・森の手入れ	木工工作	自然観察	苗づくり
12月15日(日)	59名	上田さん	7名	34名	3名	3名
1月11日(土)	57名	谷本さん	16名	17名	12名	実施せず

豚汁の振る舞い



12月15日の例会日は恒例になった豚汁の振る舞いがありました。温かい豚汁に舌鼓を打ちながら、英気を養いました。

ヤマザクラの植樹



1月25日(土)ほくら~ととや森の世話人倶楽部主催のヤマザクラの植樹会が、神戸薬科大学山手の六甲山グリーンベルト整備事業活動地で開催されました。企業・学校・森林ボランティア団体のメンバー119名が参加しました。

雨予報で開催が危ぶまれていましたが、奇跡的に晴れ上がり、無事50本のヤマザクラを植樹することができました。植樹した苗木に樹木札と猪除けのウッドガードを取り付けました。

4月4日(土)お花見ハイキングが開催されます。ミニコンサートなど楽しいイベントも用意されています。是非お越しください。

4月4日(土)お花見ハイキングが開催されます。ミニコンサートなど楽しいイベントも用意されています。是非お越しください。



カナディアンアカデミーの生徒さんも参加

山の神の神事



1月7日、本年最初の活動日に「山の神の神事」が行われました。あいにくの雨天のため、ログハウスにて、安全祈願をしました。

ぜんざいの振る舞い



1月11日の例会日はぜんざいの振る舞いがありました。会員が持ち寄ったお餅を炭火でこんがり焼いて、美味しくいただきました。

お知らせ・掲示板

♠こうべ森の小学校 & 森のようちえん

(活動日の問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

♠摩耶の森クラブ

(活動日の問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

♠ボランティア保険に加入していますか

森の手入れの作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛け金は500円の負担で補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口はお住まいの市区町社会福祉協議会です。

会員活動の開催予定日

- ・月例会 3月14日(土)・4月19日(日)
午前中は全員で森の手入れを行います。午後は自然観察・木工・苗作り・森の手入れから選択をしていただきます。
- ・上記以外の火・木・土曜日も活動しています。

「こうべ森の学校」は、発足当初から物心両面にわたり伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて運営されています。

編集後記 こうべ森の学校の登下校の楽しみの一つが布引貯水池に飛来する水鳥たちの観察です。今年は暖冬だからどうかと心配していましたが、例年通りマガモやオンドリを見ることが出来ました。樹の上で忙しく飛び回っている鳥に比べて水鳥はじっとしていることが多いので、野鳥観察の入門編と云われています。また樹々が落葉している冬場はメジロやウグイスなどを観察するのもにも適しています。野鳥の声が聞こえたら、森の手入れを一休みして、そっと観察してみましよう。(斉藤 豪)

